

平成 23 年 12 月 15 日
京福電気鉄道株式会社

季節を感じる二十四節気 冬至は“ゆず湯”で ぽっかぽか

嵐電（京福電気鉄道㈱本社：京都市中京区）は、冬至（12月22日）の日に嵐山温泉「駅の足湯」で“ゆず湯”を行います。

冬至は、北半球では、太陽の高さが一番低いため、一年の中で一番昼が短く、夜が長くなります。冬至を境に昼が長くなっていきます。太陽の力が戻ってくるとも解釈され、中国の古い考え方では、冬至は陰が極まる日とされ、同時に陽に戻る日とされています。悪いことが続いたあと、ようやく物事が良い方向に向かうともいい、冬至を指す「一陽来福」という言葉があります。

今年の冬至は、京都の名産“水尾のゆず”を約 40 個ご用意します。ゆずには、血行を促進し、体を芯から温める成分があり、また、皮膚を強くする働きがあります。ゆずの香りは、リラックス効果があるとも言われています。

「駅の足湯」で「一陽来福」を願い、健康に冬を過ごせるよう、昔から受け継がれている風習「ゆず湯」をお楽しみください。

記

実施日時：12月22日（木） 9時～18時（受付終了：17時45分）

実施場所：嵐山温泉「駅の足湯」・・・嵐電嵐山駅ホーム内

足湯利用料：150円（タオル付き）

嵐山駅窓口、または嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア
インフォメーションで利用券をお求めください

嵐山温泉

泉質：単純温泉（低張性弱アルカリ性温泉）

適応症：神経痛、筋肉痛、関節痛、慢性消化器病、冷え性、病後回復、
疲労回復、健康増進

以上